

第102回安来市議会定例会 6月定例会議
文教福祉委員長報告

令和6年6月14日

去る6月3日に開議されました本会議において本委員会に付託されました議案及び陳情について、6月11日に審査を行いましたので、その結果並びに経過をご報告いたします。

まず、審査結果について、

議第86号 安来市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例及び安来市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

議第89号 財産の取得について

以上2件は、すべて全会一致で執行部提出原案のとおり可決すべきものと決しました。

陳情第2号 訪問介護の基本報酬引き下げ撤回等と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書の提出に関する陳情書については、採決の結果、賛成多数で採択すべきものと決しました。

陳情第3号 国に学校給食費の無償化を求める意見書を採択し、提出を求める陳情書については、採決の結果、賛成多数で趣旨採択すべきものと決しました。

続いて、審査の経過について主なものを申し上げます。

「議第86号」及び「議第89号」について、委員からは数件の確認がありましたが、いずれも審議に影響する内容ではありませんでした。

「陳情第2号」について、委員より「地域の実態、中山間地を抱えている安来の実態も加味し、国に声を上げていくべきなので採択」という意見や「再改定した場合、国が行うとはいえ、結局、国民負担になりかねないので、採択とは思えない」といった意見がありました。

「陳情第3号」について、委員より「国が限られた予算の中で給食を賄っていけば、質の低下を招きかねない。給食を提供していない自治体では施設整備が必要で、結果的に自治体の負担、国民の負担になりうる。家庭でも、当然食事は必要な物、負担は必要と考えるが、趣旨は理解できる」という意見や「無償化を進める自治体が増えている。食育としての給食というのは、国が責任を持ち、無償にしていくべきだと思っているので、採択すべき」といった意見がありました。このほか、「今年の夏頃に国が公表を予定している全国の小、中学校の実態調査を確認したうえで検討すべき」との意見もありました。

以上、文教福祉委員長報告といたします。